

「災害は必ずやってくる」

防災士会の新城氏が講話

八重山警察署（与那嶺一文字署長）は28日午前、NPO法人日本防災士会沖縄県支部の新城格支部長を講師に招き「災害は必ずやってくる～応災力に強くなろう～」の演題で防災講話を開催した。



新城格支部長

新城氏は2011年3月に発生した東日本大震災当日の様子を映像で紹介し、「すさまじい津波。しかし明和

の天津波はこれ以上のものだったと考えられる」と話し、大災害の教訓を「災害は必ずやってくる。繰り返してやってくる。いつでもどこでも想定外で発生する」と注意喚起した。

新城氏は災害に強くなるためには①地域を知る、②人を知る、③災害を知る、が重要だと話し、避難所の運営に関しては、避難所開設キットの常備や女性目線でのプライバシー配慮が必要だと訴えた。

町からの避難指示等がなかったにも関わらず、隣近所からの勧めで避難し、人的被害を最小限にとどめる事ができたと紹介し、「自助、共助の好事例。まずは自分の命を自分で守ることが大切」と呼び掛けた。



「災害は必ずやってくる～応災力に強くなろう～」の演題で防災講話を開催した＝28日、八重山署

2015年に与那国島を襲った最大風速81メートルを記録した台風21号については、